



2015年3月のロータリーレートは1ドル=118円

2015年 地区大会は10/24～10/25

**LIGHT UP ROTARY** ロータリーに輝きを 2014～15 RI会長 黄其光 Gary C.K.Huang (台北 RC)  
 ふるさとを育み 世界平和へ 2014～15 2610地区カバナー 永田 義邦 (高岡 RC)  
 多様性と団結力を活かして楽しく活動する ~みんなちがって みんないい 会長 宮永満祐美



**例会便り**  
 第778回  
 ホテル日航 5F  
 3/12 (木) 19:00~20:00  
 出席率 19/37 51.35 %  
 宋戸紀文 SAA 2月の平均出席率は70.74 %

- 点 鐘**
1. ロータリーソング 『我等の生業』
  2. 四つのテスト
  3. 宮永満祐美会長挨拶 皆さんこんばんは連日のように金沢特集の番組が放映されています。最初は、ありがたいと思いましたが、こう続いてくると飽きてくる感じもします。マスコミなどは、どこでも同じことを繰り返し放



映する傾向がありますね。また、私達もつい決めつけて言うこともあります。

「高校入試の日って、いつも雪降るね」と友人が言っていました。私の時は降らなかった、子供の時も降ってなかった。でも彼女の時は降ったそうです。今 学んでいる考え方から言うと、三回同じようなことが起きると「みんな」とか「いつも」とか「絶対」という言葉をつかいたくなるそうです。喜ばしいことはよいのですが、否定的な言葉でラベルを付けたくなるのは、避けたいものです。

ただ これだけは 言いたいと思います。「金沢百万石ロータリークラブの会員は、みんな いい人!!」

ゲストのご紹介 ビジターのご紹介 なし

2月の誕生者の紹介 杵屋 喜三以満 (きねや きさいま) 会員



《 食 事 》

幹事、委員会報告等：



〔幹事報告〕井口千夏幹事：金沢香林坊ロータリークラブ 中川可能作 (なかがわ かのさく) 様 ご令室 明子様 訃報のお知らせがございます。

4/9 (木) 富山西RCとの合同例会のご案内を皆様のお手元に送付いたしておりますので、ご出欠の返信をよろしく願いいたします。



〔委員会報告〕藤間勘菊出席委員：2月の平均出席率は70.74%でした。

大路孝之副幹事：来週は例会と併せまして楊立山 (やん りっさん) さんの送別会を開催いたします。会場が招龍亭となりますので、参加される方はお間違いのないよう、よろしく願いいたします。



ニコニコBOX

¥8,000- 本年度¥374,002- 残高¥5,861,417-

宮永会長：吉田先生 本日はよろしくお祈いします。

井口幹事：吉田先生 本日は楽しみにしています。

上杉会員：吉田様のお話 楽しみです。

木場会員：吉田会員の卓話楽しみに聞かせていただきます。県立美術館で水野博先生の御作品が展示されています。素晴らしいです。

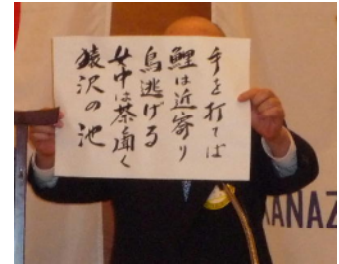
杵屋会員：長い間お休みしてすみません。吉田様 御話たのしみにしております。



皆さん今晚は、本日は沢山のお参りありがとうございます。常日頃、私たちは次のような会話を耳にします。  
【長い間つきあっているのに、なんとなくしっくり、いかない】とか「初めてお会いしたのに、意気投合しました」  
とか、このような心の動きを、ちょっと覗いてみたいと思います。

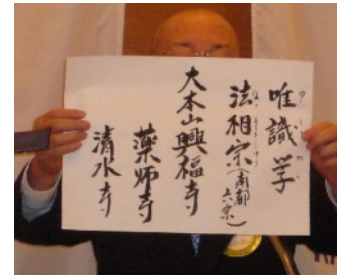


昔の古語に次のような歌があります。  
「手を打てば、鯉は近寄り、鳥逃げる、女中は茶と聞く、猿沢の池」  
此の歌には、大変重要な意味合いが含まれているのです。  
「パンパン」と手を叩くと、鯉は餌を貰えるかと近寄って来ます。鳥は鉄砲の青かと思ひ、一目散になって逃げていきます。女中さんはお茶の催促かと思ひます。  
この様に、姿恰好の違う生き物に、共通しているのは尊い命を持っている事です。



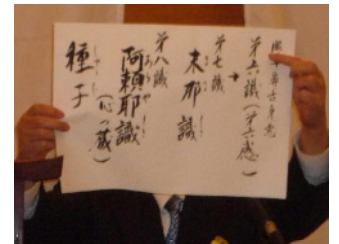
これら三者が「手を打つ音」の「縁」に触れると、何故、各々異なった行動を取るのだろうか？

これらの事象を究明する学問が「唯識学」であります。  
それを教義として、開かれた宗派が「法相宗」であります。  
奈良時代に開宗された南都六宗（華嚴宗、律宗、法相宗、三論宗、具舍宗、成実宗）の一つで、その大本山が興福寺です。薬師寺や清水寺も同じ宗派です。

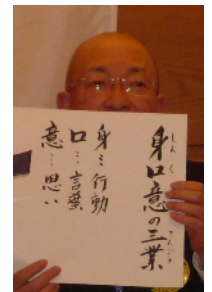


従って、古語の歌にある池は「猿沢の池」でなくてはならないのです。「不忍池」や「瓢池」では駄目なのです。それは猿沢の池に興福寺の「五重の塔」が影を宿すからです。

古来より、法相宗と猿沢の池は深い繋がりでもすばれているのです。



さて、「唯識学」では心を八つに分類します。  
私たちは、日常第六感といっているのは、「眼」、「耳」、「鼻」、「舌」、「身」、「意」の六つで感じている意識のことであります。  
この次は、第七識「末那識」です。  
そして、人の心の、もっとも深層部にあるのが第八識「阿頼耶識」です。  
今日はこの「阿頼耶識」についてお話してみたいと思います。  
聞きなれない言葉ですが、古代サンスクリット語でヒマラヤのヒマは「雪」をラヤは「蔵」を意味するそうです。つまり「雪の蔵」のことです。  
アラヤも「心の蔵」と言う意味になります。



話を分かり易くする為に、一つの例を挙げて説明しましょう。  
\*「お祭り」と言えばなにを思い出しますか？と尋ねてみました。  
園児たちは「りんごあめ」「ふうせん」「たいこ」など  
先生たちは「獅子舞」「赤ご飯」「しめ縄」など  
刑務所の囚人「酒」「てきや」「けんか」など、思い出して来るものが人によって異なって来るのです。  
前述した「手を打つ音」や「祭り」と言う「縁」に触れると、「阿頼耶識」の蔵に薫習された「種子」(しゅうじ)が行動して、「身、口、意」の三業(行動、言葉、思い)となって個々に現れて来るのです。  
この「種子」は個人が今まで経験した行為、行動全てが種子として蓄積され、ご先祖さまからの伝統的な繋がりも種子となるといわれています。



夜霧の中を歩くと、いつの間にか衣類が湿っぽくなるように、また僧侶の衣にお香の香りが染み込むように、自然と「種子」が知らない内に「心の蔵」に薫習されるのです。  
従って、時々人間も「心の蔵」を整理整頓して、汚れた心を洗浄しなければなりません。

企業では年度末になると、蔵の在庫整理をして不良品や賞味期限の切れたものを処分して、適正在庫にします。  
手に付いた汚れや衣類に付いた汚れは、店に売っている洗剤で綺麗にすることは出来ますが、心の汚れは洗剤では綺麗にすることは出来ません。  
心を綺麗にする洗剤を求めるとは何処へ行けばよいのでしょうか。  
それはお寺に行けば求め易いのです。つまり心を綺麗にするには「甘露水」が必要なのです。  
「洗心甘露水」とは「心を洗う甘露の水」つまり「甘露の水」とは「仏の教え」なのです。

「仏の教え」を「開法」したり「経典を読む」、「写経」をする、「写仏」したり「造像」したりすることにより、心の蔵が浄化されてゆくのです。日常起こる、他人との心の葛藤を、唯識学的に捕らえていくと、案外お互いの理解に役立つようになると思います。あの人と私は「阿頼耶識」の蔵の「種子」の種類が異なるから、行動に違いが出て来るのだなあーと思えるようになります。

最後に一つ「あらー奥さん久しぶり」「何処まで行くの」【銀行まで】「下ろしに行くの、入れに行くの」  
「向かいの奥さんて、なんて失礼なことを聞くのでしょうか」と言う前に、これも蔵の中の種子の違いでしょうか。と思えば、腹も立たず、相手の立場も理解でき、厭な思いもしなくて済むのです。これのように、「仏の教え」に触れ「洗心甘露水」によって心の浄化が生まれて来る事を願うものであります。

点 鐘

パストガバナーからの手紙 212 回

## 「拙劣なる軍国主義と戦後の平和主義」 炭谷 亮一

戦前日本人の軍国的無知は、ふりかえってみても、戦慄を禁じえない。あんなことで、ともかくあれだけの大戦争を闘ったものだ。いや、あんなことだから、無謀きわまりない大戦争に突入した、というべきか。

戦前もかなり昔の軍縮時代、代議士の一行が軍艦を訪問したことがあった。戦前といっても、軍縮時代には、まだ軍隊の立場はかなり弱い。欲しいだけの予算もなかなか議会通过らないのである。そこで、代議士の一行をたいへん手厚く歓迎した。いろんな軍艦を見せてやったのだが、やはり代議士連中が一番感心したのが潜水艦。昭和の初期の日本人にとっては、軍艦が水にもぐるなんてまさに科学の驚異、今日の宇宙船みたいなものだったろう。かねて噂には聞いた潜水艦を目のあたりに見て、一同おおよるこび。感激した一人の代議士が叫んだ、「・・・・・・とここで、潜水艦が水にもぐるときには、乗組員は一体どうするんですかね。浮袋にでもつかまって、しばらく泳いでいるんですかね？」この質問には、案内にあたった大尉も、答える言葉もなかったとのこと。

まさか、すべての代議士がこのレベルであるまいと思われるかもしれないが、実質的に言って、これと五十歩百歩だと思って大過はない。なにしろ、帝国議会において、軍備をめぐるの専門的討論がなされたことは一度もなかった。

帝国海軍は、英米ともに三大海軍国の一つだなんて威張っていたが、国民の軍事的理解ともなると、とても英米の足許にさえも及ぶものではなかった。

国民の代表たる帝国議会がこんなありさまなのだから、国民一般などおして知るべしなのだが、その議会の軍事的無知ぶりとなると、言語道断としかいいようのないものであった。

日本の造艦技術が英米のそれを追いぬいたのは、平賀博士の巡洋艦古鷹を嚆矢としてであったが、この破天荒な軍艦の出現に接するや、英国議会においては、直ちに、政府に対する質問が発せられた。曰く、古鷹は、わずか7100トンしかないのに、何故、英国の9000トンクラスの巡洋艦よりも強力なのか、日本にはこんな小さな艦（ふね）に8インチ砲をなぜ搭載出来るのかなどと、かなりの専門的な質問が矢継ぎ早に発せられる。英国では、官僚が政府委員になって議場に入ることはできないから、これらの質問には、全部、大臣が自ら答えなければならぬ。大臣も議員も、国防に関しては十分に勉強して、議場において丁々発止とわたりあうわけだ。国民もこれを固唾をのんで見まもり、勤務評定して、その結果を投票のさいの参考にする。

ここで括目すべきことは、イギリス国民の軍事的理解の程度と熱意とはかなりのものがあり、当時国防の中核ともいべき重巡洋艦問題に、いわば国を挙げて、軍部も議会もジャーナリズムも、一体となつてとりくんだことである。

日本ではとても、こういうぐあいにはいかない。当時の日本人の軍事的理解度に戦慄さえ覚える。戦後においても何ら変わるところはない、民主党政権下、石川県選出の某衆議院議員が防衛大臣の就任あいさつで、国防に関しては素人であるとの発言をし、国民を驚かせた。

さて現在の日本では太平洋戦争の敗戦により、その反省から日本人は平和国家を渴望し、平和主義国家となり国際紛争での武力行使を放棄した。

そして戦前多くの大学に存在した、軍事学部、軍事学科を廃止し、大学での軍事研究をやめてしまった。生来より日本人は極端から極端に走る傾向があり、今だにその習性から抜け出せないでいる。思い起こしてみよう、戦時中米英と対峙し英語を使うことも、教えることもやめてしまった、敵国の言語など必要ないと、従って米英の研究すら軽んじられる様になり、ある意味致命的だったと言える。一方米国では日系米人をも動員して、盛んに日本研究を行い戦争を有利に導き、戦後処理の方策さえも研究し、来日経験のない民族学者ルース・ベネディクトは「菊と刀」なる秀逸なる著作を出版し、占領軍はこの本をテキストにしスムーズに戦後処理を行うことが出来た。戦時中も戦後もアメリカの一流大学例えばハーバード、プリンストン、MIT等の大学には軍事学科、軍事学部が永々と存在し国防の一翼をになっている。現在の日本の大学で軍事学科、軍事学部を復活させるべきである。何も軍事研究する目的は殺人兵器を開発して戦争への備えをする為ではない、いかに諸外国との戦争回避の方策を研究するためである。「平和」「平和」と念仏の様に唱えても平和はやって来ない。平和維持の為に大学での軍事研究を復活させ真の平和を希求すべきである。

本稿を執筆中の1月21日には中東でイスラム国に二人の日本人ジャーナリストが拘束され2億ドルもの身代金を要求されている。日本政府に解決出来る妙案があるとは思えない、すべての案件に対応できる様常日頃から軍事



研究をおこたってはならない。

最後に戦前、欧米の経済ジャーナリストが日本は世界に冠たる一等国であると自負していた日本の政府高官に「日本のGDP・国内総生産」はどれ位ですかとの問いに、「GDP」の意味が理解出来ず答えられなかった。当たり前のど真中である、何何何んと戦前の日本には経済学の初歩の初歩である「GDP」などの経済統計は存在しなかった。日本人には「愚かにも程がある」と言える一面が存在するのかも知れない。

### 〔米山奨学生レポート〕

#### 奨学生の2年間を振り返る 金沢百万石RC 楊 立山



2013年の4月から、米山奨学生になって、2年間になりました。この二年間は本当にあっという間でした。米山奨学金の支援のお陰で無事に博士後期課程の最後をむかえました。

2年間のあいだ、毎年3回の卓話をしました。いつもカウンセラーの大路さんは車を運転して、藤間先生も一緒に同行していただきました。お二人はいつも近くに座っていて、私が落ち着いて卓話ことができました。感謝しています。そして、毎月世話クラブの金沢百万石クラブの例会を参加させました。いつも、ステージを上がって、一言を言ってくださいと言われてるとき、緊張していました。でも、皆の優しい顔を見て、少し落ち着きました。2年間の奨学生生活がそろそろ終わりますが、金沢百万石クラブの皆さんとのつながりが終わらないと思います。いつか金沢に来る時、また例会を参加したいです。そして、いつかクラブのどなたが中国に来る時、連絡していただけることも期待しています。

私は美術の専攻ですので、個展をすることは非常に重要なことです。奨学生になって、1年目の時、金沢で初めての個展をしました。2年目の時、東京の銀座で個展をしました。これは米山奨学金の支援がないと、非常に難しいことです。感謝しています。特に2回目の銀座の個展は、私にとって、重要な意味があります。展示の時、たくさんの美術関係の方が来て頂いて、いろいろな意見を聞きました。その時からいろいろ考えて、やっとな漆という素材を使う意味をわかりました。それをもとにして、博士論文を描き上げることができました。

これから、中国に戻り、どこかの大学の先生になり、日本で勉強したこと、経験したことを出来るだけ多くの中国の人に伝えたいと思います。ロータリーの方からよく「奉仕」という言葉を聞きましたが、中国に帰って、日中文化交流のことを促進し、特に日本で勉強した漆芸を多くの人に紹介し、日中漆芸の交流を深めていきたいと考えています。これも「奉仕の精神」の一つの意味ではないかと思えます。

2年間の奨学生生活は本当に充実で楽しい2年間でした。皆様のご支援をいただき、心から感謝しております。

### 富山西RC「観桜会」合同例会開催のご案内

日時：平成27年4月9日(木)

16:20 松川茶屋(遊覧船乗り場)に集合

16:30～ 松川遊覧船でお花見(所要時間約30分)

18:00～ 富山電気ビルで懇親会

場所：松川遊覧船・遊覧船乗り場 松川茶屋(富山市本丸1-33)

・連絡先 予約センター TEL 076-425-8440

富山電気ビル 4階「光の間」(富山市桜橋通り3-1)

TEL 076-432-4111)

会費：5,000円

※例会当日に集金させていただきます。

なお、会費は8千円ですが例会費3千円をクラブが負担します



### 駅前地下ドームにて“おもてなし大茶会

北陸新幹線“かがやき”が、春風と共にやって参りました！駅前地下ドームにて“おもてなし大茶会”を担当いたしました。この日のために而妙齋家元宗匠より、“梅香北陸発”と一行の掛物を頂き、旅卓のお点前を披露、2000人のお客様をお迎えいたしました。新幹線を迎えることに携わりながら、この日を迎えられなかった方々へも、お花とお茶を手向けるコーナーもあり、地元作家さんのお道具も好評のうちに、幕をおろしました。

布施美枝子



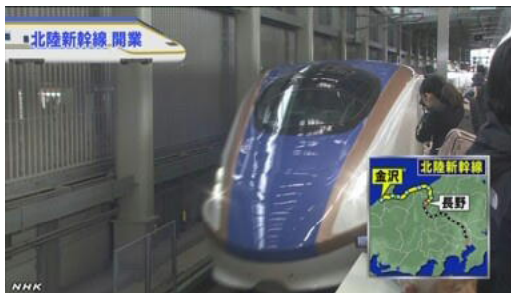
## ニュース 3/14 北陸新幹線開業

長野新幹線を延伸する形で、金沢と長野の間のおよそ230キロが新たに開業し、金沢と東京の間が、従来より1時間20分ほど短いおよそ2時間半で結ばれます。

金沢駅と東京駅のホームでは出発式が行われ、このうち金沢駅では、およそ5000人の地元住民や鉄道ファンらが駆けつけるなか、テープカットやくす玉割りが行われ、北陸新幹線の開業を祝いました。

そして、金沢駅の辻昭夫駅長と、石川県の能登半島を舞台にしたNHKの連続テレビ小説「まれ」のヒロイン、土屋太鳳さんの合図で、上りの一番列車、「かがやき500号」が定刻から1分遅れて午前6時1分に東京に向けて出発しました。

また、午前8時46分に東京駅を出発した1番列車の「かがやき501号」が定刻どおりに到着しホームでははっぴ姿の石川県の谷本知事や着物姿の女性たち20人余りが「ようこそ石川金沢へ」と書かれた横断幕を持って乗客を出迎えました。(新幹線ホームページより)



## クラブ例会予定 2014-2015 年度

- 3/19 楊 立山さん送別会
- 3/26 新田千鶴子様  
カミオ欄代表取締役社長
- 4/2 クラブフォーラム
- 4/9 富山西 RC 合同例会
- 4/16 村本 睦戸様 ホロデックス代表
- 4/23 丸谷 彩有美様  
NPO 法人 ワークライフバランス代表
- 4/30 休会
- 5/7 菅野 啓太様
- 5/14 小谷内 陽平様  
メイク・ア・ウィッシュオブ・ジャパン北陸支部長
- 5/21 オープンロータリー
- 5/28 振替休会
- 6/4 洲崎 邦郎様
- 6/11 横山 方子様
- 6/18 クラブフォーラム
- 6/25 振替休会

## 2014～15 役員・理事・委員会

**(役員)** 会長：宮永満祐美 エル外：魏賢任 副会長：若狭豊 幹事：井口千夏 副幹事：大路孝之

会計：上杉輝子 SAA：宍戸紀文 直前会長 野城 勲

**(理事)** 理事：二木秀樹 北山吉明 金沂秀 藤間勘菊 西村邦雄 武藤清秀

常任理事：石丸幹夫 吉田昭生 木場紀子

理事会オブザーバー・アドバイザー：バストガバナー 炭谷亮一 地区バスト幹事岩倉舟伊智 監査：後出博敏

**(委員会)** クラブ管理運営委員長：二木秀樹 副：東海林也令子 親睦：○武藤清秀 辰己クミ 水野陽子

金沂秀 川きみよ 上杉輝子 吉田昭生 杵屋喜三以満 魏賢任 大路孝之 高田重男

例会：(プログラム) ○東海林也令子 宍戸紀文 川きみよ 吉田昭生 (出席) 野城 勲 藤間勘菊

SAA：○宍戸紀文 稲山訓央 ニコニコ：○稲山訓央 若狭豊 友好・クラブ細則：細則 CLP 検討 江守巧

富山西 RC との交流岩倉舟伊智 木場紀子 金沢北 RC との合同例会二木秀樹 杵屋喜三以満 高崎 RC との交流村田祐一

金沂秀 藤間勘菊 直前委員長：西村邦雄

奉仕プロジェクト委員長：北山吉明 副：水野陽子 職業：○永原源八郎 二木秀樹 大路孝之 稲山訓央

村田祐一 谷伊津子 社会：○村田祐一 谷伊津子 北山吉明 '新世代・青少年' ○北山吉明

国際：○西村邦雄 世界社会奉仕 (R財団) 西村邦雄 ラオス支援 魏賢任 藤間勘菊 描き損じハガキ 江守道子

米山奨学会 木場紀子 奨学生の世話大路孝之 (カウンセラー) 野城 勲 青少年奉仕 国際青少年交換上杉輝子

ロータリーアクト研究会稲山訓央 上杉輝子 直前委員長：木場紀子

会員組織委員長：金沂秀 副：江守巧 会員増強：○金沂秀 岩倉舟伊智 武藤清秀 宍戸紀文

川きみよ 稲山訓央 大路孝之 修練 前期石丸幹夫 藤間勘菊 後期木場紀子 江守巧

広報委員会委員長：藤間勘菊 副：石丸幹夫 広報：藤間勘菊 吉田昭生 ロータリー情報：炭谷亮一 石丸幹夫

会報・ホームページ：石丸幹夫 宍戸紀文 直前委員長 村田祐一

長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

**(地区委員)** 諮問委員会委員 地区ガバナー氏名委員会委員、クラブ奉仕部門Bカウンセラー 炭谷亮一

社会奉仕委員会委員長 ロータリーとふるさとを考える委員会委員 谷伊津子

地区監査委員会委員長 後出博敏 R米山奨学会委員会副委員長 藤間勘菊

友情交換委員会委員 宮永満祐美

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19：00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9：00～15：00 休憩時間 12：00～13：00 木 15:00～20:00

休日 (土日祝日) 事務局員 西村有里 幹事 井口千夏